

「第一回ナイロビ地球地図セミナー」の実施結果

2002年8月26日
国土交通省国際建設課

国土交通省は、地球地図プロジェクトの一層の推進を目的とするグローバルマッピング・パートナーシップ事業の一環として「第一回ナイロビ地球地図セミナー」を関係機関の協力とアフリカ諸国からの20名の研修生の参加を得て開催した。セミナーは、地球地図の政策的意義及び地球地図データ整備の実習を主な内容とし、その成果としてアフリカ諸国への地理情報技術の移転と地球地図データ作成の促進が期待される。

1. 期 日 2002年8月19日(月)～8月23日(金)
2. 場 所 開発のための資源地図地域センター(以下 RCMRD)¹(ケニア・ナイロビ)
3. 主 催 地球地図国際運営委員会(ISCGM)²・国土交通省・RCMRD
4. 後 援 ケニア測量局(SOK)³・JICA・ケニア測量地図学院(KISM)⁴
5. 研修生 国家地図作成機関から計20名が参加。参加国はベニン、ボツワナ、コンゴ、エチオピア、ケニア(3名)、レソト、リベリア、マダガスカル、マラウィ、モーリシャス、ナミビア、セネガル、セイシェル、スワジランド、タンザニア、ウガンダ、ザンビア、ジンバブエ。
7. 講 師 国土交通省、地球地図国際運営委員会、RCMRD、ケニア測量地図学院
8. 実施内容
 - (1) オープンワークショップ(8月19日)

「アフリカにおける地球地図の促進」をテーマとしたワークショップを約80名の出席を得て実施し、ケニア測量地図学院長の議事進行により以下の講演と議論が行われた。

 - 1) 地球地図プロジェクトの実施状況(地球地図国際運営委員会)
 - 2) アフリカにおける地球地図プロジェクトの実施(ケニア測量局)
 - 3) RCMRDの活動概要(RCMRD)
 - 4) 空間データ基盤の意義(RCMRD)
 - 5) UNEP(国連環境計画)における地理情報整備の取り組み(UNEP)
 - 6) Africover(アフリカ地域の土地被覆情報整備事業)の概要(FAO(国連食料農業機関))
 - 7) 地球地図プロジェクトのWSSDへの貢献とグローバルマッピング・パートナーシップ事業の概要(国土交通省)
 - (2) 地球地図データの整備(8月20日 8月23日午前)

コンピュータ実習施設を用いて以下の内容で講義と実習を行った。

 - 1) GIS(地理情報システム)概論
 - 2) Arcview(GISソフトの一種)基本操作
 - 3) GISソフトを用いた地球地図データの取り扱いと加工
 - (3) 地球地図の整備に向けた今後のステップ(8月23日午後)
 - 1) 国内空間データ基盤の整備のステップ(RCMRD)
 - 2) 地球地図データの利活用事例(国土交通省)
 - 3) まとめ(国土交通省)
9. セミナーの実施を通じて参加者(研修生、講師、後援者)により確認された論点
 - (1) アフリカ諸国は地理情報技術の技術移転を必要としており、今回のセミナーの開催はその機会として意義が大きかった。
 - (2) セミナーの内容は地球地図に関する政策的意義と技術的事項の両方がバランスよく取り扱われており、示唆に富むものであった。
 - (3) 地球地図の整備は、途上国にとっては地理情報技術の能力向上と、持続可能な開発に不可欠な世界的情報インフラ整備の貢献という二つの意義を有する。
 - (4) 作業の重複を避けるためにも、地球地図プロジェクトはアフリカバー事業やその他の関連イニシアティブとのパートナーシップを深めるべきである。
 - (5) 次回のセミナーは地球地図プロジェクトの参加が十分でない西アフリカ地域で開催することを検討することも示唆された。

¹ Regional Center for mapping of Resources for Development

² International Steering Committee for Global Mapping

³ Survey of Kenya

⁴ Kenya Institute of Survey and Mapping